

地域に設置した気象センサーネットワークから測定データをJOSEで収集・蓄積 ほ場毎の最適な収穫時期を推定・提示する「スイートコーン収穫適期情報システム」を開発

研究テーマ

農業におけるG空間ビッグデータ収集・分析・活用による高度営農支援プラットフォームの構築

研究実施機関

北海道大学、(国研)農業・食品産業技術総合研究機構 北海道農業研究センター、
北海道立総合研究機構、芽室町農業協同組合、(株)オーレンス

研究の概要

北海道芽室町をモデル地域として、とうもろこしの収穫適期推定のためのシステム開発・
実証試験を実施

NICT総合テストベッドを
活用した研究成果

■研究成果

とうもろこしの収穫時期を見極めるため、地域に設置された気象センサーネットワークからの測定データを日々データベースに蓄積し、ほ場毎の最適な収穫時期を推定・提示する「**スイートコーン収穫適期情報システム**」※を開発 ※北海道大学、芽室町農業協同組合、(株)オーレンス 3者の共同開発
収穫時期を迎えた畑を地図上にマッピングするWebインタフェースも備え、農業現場で試験利用
現在、**利用農家を拡大して運用中**

地域設置の気象センサーネットワークから測定データを取得

測定データの収集・蓄積
収穫適期の解析・予測
農作業適期マップの作成

各農家はWebブラウザを使って収穫時期、場所を把握

